

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 5月 14日

【評価実施概要】

事業所番号	272300948		
法人名	有限会社ファイブ・ワン		
事業所名	グループホームえびす		
所在地 (電話番号)	〒038-3802 青森県南津軽郡藤崎町藤崎字西浅田20-2 (電話) 0172-75-5995		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 3月 20日	評価確定日	平成 20年 5月 14日

【情報提供票より】(平成 20年 3月 3日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 7月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	3,000 ~ 冬期6,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(3月 3日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名		
要介護3	10 名	要介護4	4 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	70 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	せきばクリニック、佐藤歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>国道から少し入った所に位置し、自然に恵まれた環境にある。事業所独自の理念を持ち、利用者が地域の中でその人らしく暮らす事ができるよう日々取り組んでいる。地域の行事に積極的に関わっており、行政主催の総合避難訓練や利用者と共に模擬店に参加したり、小中学校の福祉体験学習の受け入れをしたりしている。昨年、畑作業のビニールハウスを設置し、それを通じて近隣の農家との交流をする等、地域密着型サービスとしての取り組みに積極的である。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員間の情報交換の場として、朝夕のミーティングや管理者との話し合い等が行われているが、職員全体での会議・意見交換の場がより多く持たれるよう期待したい。状態の変化に応じた介護計画の見直し、アセスメントも含め適切に行われているが、今後は定期的な見直しも最低6ヶ月に1回は行われる事が望まれる。利用者個々の生活歴等の情報収集や、経験を生かしたその人らしい暮らしを支える為の援助への取り組みに期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は評価の意義を理解し、改善に向けた取り組みに努力している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>他施設における入浴事故の事例、町村からのインフルエンザ流行時の指導事項等について討議され、その内容をふまえた設備の改善(浴室の鍵を増やす等)や対応等に積極的に取り組み、サービスの質の向上につなげている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族からの意見苦情があった場合は、報告書を作成提出し改善内容を職員に共有し業務につなげている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>行政主催の総合避難訓練・模擬店への参加、地域主催のお茶会への参加や小中学校の福祉体験学習の受け入れを行っている。又、畑作業のビニールハウスを設置する事で地域の人が訪問しアドバイスや談笑を楽しむ等地域との連携が活発である。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の基本理念を職員一人ひとりが理解している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念を玄関、事務室に掲示している。管理者は朝夕のミーティングで助言をし、全職員が理念の実践に向け取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	行政主催の総合避難訓練・模擬店への参加、地域主催のお茶会への参加や小中学校の福祉体験学習の受け入れを行っている。又、畑作業のビニールハウスを設置する事で地域の人が訪問しアドバイスや談笑を楽しむ等地域との交流に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善点をまとめ、全職員に伝達し職員は日々の業務で改善に向けて取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	他施設における入浴事故の事例、町村からのインフルエンザ流行時の指導事項等について討議され、その内容をふまえた設備の改善(浴室の鍵を増やす等)や対応等に積極的に取り組み、サービスの質の向上につなげている。		
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との関わりは積極的で小中学校の福祉体験学習を取り入れ地域との交流に努めている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者は研修に参加し、その内容を職員に情報を提供したり、朝夕のミーティングで助言したりしている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は虐待について認識、理解をし防止に向けての取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時不安がないように十分な説明を行い、理解が得られるように努めている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	広報誌の発行に加えて、担当職員が家族と連絡を取り合い健康状態等を報告している。金銭管理については領収書のコピーを毎月渡しており、支払いの際にも家族から情報を得たり状況を伝達したりしている。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見苦情があった場合は、報告書を作成提出し改善内容を職員に共有し業務につなげている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動は最小限に抑えている。異動の際は、各担当と副担当で対応し利用者に影響がないよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員は研修会に参加し、参加後に報告書を作成し提出している。また、介護支援専門員・介護福祉士の資格取得にむけ、施設内の勉強会を開催している。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は地域ネットワーク会議へ定期的に参加するなど、同業者と交流する機会を持っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>同事業所でのデイサービス利用により職員との交流が図られている。入居前に施設見学をして頂いてる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>ビニールハウスでの畑仕事や軽作業、料理など利用者から聞いたり、教えてもらったりして、共に学び、支えあう関わりを大切にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者一人ひとりの思いや意向を、朝夕のミーティング時に、その都度報告、把握し検討している。利用者が買い物や外食を希望する時は希望に沿うように努め実施している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族からの意見を取り入れ作成し、ミーティングで話し合い情報交換し、ケアへと結びつけている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	更新時に介護区分の変更があった場合や入退院による状況に変化があった場合など家族と話し合い、作成している。		実情に即したケアの提供が実践できるよう介護計画は少なくとも6ヶ月毎に見直すことを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイサービス・居宅介護支援事業も併設している。外出時や受診、通院時の送迎など必要に応じ柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は今迄のかかりつけ医に月1回又は状態に応じて受診している。ホームの担当医が月1回又は状態に応じ往診している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族やまた職員間で話し合いを行い、方針を共有している。主治医の定期的な往診や連絡方法を統一し、その都度家族と連絡を取り合い今後の対応を検討し決定している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入浴、排泄時には特に気をつけるようにし、声がけや配慮をしている。個人情報の記録物等はきちんと整理され、プライバシーが守られている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに合わせ、時間を気にする事なく希望に沿った支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の前にメニューを紹介したり、食器を変えたり、食欲を高めるような盛り付けの工夫をしたりしている。また、食事準備や片づけは利用者のできる範囲で行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回、利用者のペースに合わせてながら入浴の支援をしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者のできる範囲での軽作業をお願いしている。買い物は月1回又は個別で行き、希望があれば外食も取り入れている。</p>		<p>利用者個々の生活歴や経験などの情報収集に努め、利用者の生活歴を活かした役割や楽しみ作りの支援への取り組みが望めます。</p>
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望によって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>利用者の希望によって計画書を作成し、バスハイクやドライブ、買い物等月1-2回以上外出している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束廃止について理解し認識してケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが日中は鍵をかけていない。玄関は職員の目の届く場所にあり、常に見守りの体制がとられている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	行政主催の総合避難訓練への参加や離園を想定しての訓練が実施され、緊急時連絡網が整備されている。地域の商店へ働きかけ協力体制を整えている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員も共に食事をし、見守り声かけがされている。摂取量が少なく状態不良時はチェック表に記入している。献立は給食委員会で相談し作成している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ノロウイルス・インフルエンザ対応のマニュアルを作成し、うがいや手洗いなどを徹底して感染予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が共同で作成した壁画や季節感のある装飾がされている。生活面の環境作りをする生活委員会があり、加湿器の設置や浴室の整備などに取り組んでいる。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンス・鏡台・椅子等を家族に持ってきてもらい、利用者が馴染みの物のある空間で落ち着いた生活をしている。		

 は、重点項目。